

◎ 栄養部門事業報告

1 行事及び内容

(1) 研究委員会

- 第1回 平成29年8月21日(月) 授業検討会事前研究会(五和小学校)
第2回 平成30年2月8日(木) 年間反省とまとめ(教育会館)

(2) 研究会・研修会

ア 授業研究会

- 平成29年10月26日(火) 天草市立五和小学校
第4学年 体育科(保健領域)「育ちゆく体とわたし」
授業者 富永 一臣 教諭
富安 美幸 栄養教諭
指導助言 上天草市立大矢野中学校
校長 田中 新作 先生



- 事後研 授業研究会
指導助言
まとめ

(3) ブロック別研修会(天草郡市学校給食会 栄養教諭・学校栄養職員部会の研修)

ア 上天草ブロック

- 第一回 平成29年5月12日(金) 年間計画
第二回 平成29年7月21日(金) 天草郡市学校給食研究協議大会準備
第三回 平成29年11月29日(水) 研究授業方式による衛生管理研修会
(教良木小学校)
第四回 平成30年2月15日(木) 上天草市学校給食マニュアルデータ作成
年間反省・給食記念週間取組実践報告

イ 天草ブロック

- 第一回 平成29年5月12日(金) 年間計画
第二回 平成29年7月21日(金) 野菜を使ったレシピを持ち寄り選定
第三回 平成29年11月10日(金) 野菜レシピ製本、養殖漁業組合の見学
第四回 平成30年2月9日(金) 年間反省・給食記念週間取組実践報告

2 反省

本研究所栄養部門の授業研究会では、食に関する学習の指導力向上を目指して、五和小学校の学級活動の授業を参観させていただいた。授業者自評では、

- ①今までの学習やアンケート結果を基に自分の生活を振り返らせた。
- ②栄養教諭の専門性を生かすように担任として配慮した。
- ③朝ごはんについての内容を入れたため、内容が多くなってしまった。
- ④めあてに沿ったまとめをすることで児童の意欲を高めることができた。

などが挙げられた。指導・助言の先生からは

- ①栄養教諭の T2 としての在り方について、栄養教諭や養護教諭が指導に入る場合、T1 の指導を補助する役割と専門家が入ることで説得力を高めることができるので、授業のどの場面で、どの話をするのか事前に確認する必要がある。
- ②児童の机間指導をする場合、見て回る視点を T1 と T2 で割り振ることも効果的な方法である。

③専門家が授業に入る場合、専門用語を使ってしまうことがあるが（今回はなかったが）対策として、発達段階に応じた習ったところまでの言葉を使うようにする。富安先生は今回、教科書に沿った言葉を使ったり、質問があるところ以外はしゃべりすぎもなく良かった。

④職場内での専門性を生かせる場面を作ることに、今回の富安先生のように、栄養教諭の見本となり、後輩へつなげていこうとする意欲が良かった。富安先生の姿勢を天草の先生たちに受け継いでいってほしい。

ということを教えていただいた。

授業研究会に取り組むにあたっての研究委員会の反省と来年度への志向としては、

①今年度計画通りに進めることができたので、次年度も1学期中に学年、教科・単元を決定しておく。

②研究委員会で指導案検討を行う。

今年度は富安先生に授業をしていただいたことにより、スムーズに計画を進めることができた。

今度も、今回のような流れで進めていきたい。

本研究会で学んだことを所属校、また配送校、担当校における指導に役立てていかなければならない。栄養教諭・学校栄養職員の職務は「給食管理と食に関する学習を一体のものとして行っていく」ことであり、日常の給食業務と並行して、学校給食が生きた教材となるような授業づくりについても日々研鑽を積んでいかなければならない。また、専門家がいることのメリットを実感してもらえるような栄養教諭・学校栄養職員を目指していきたい。